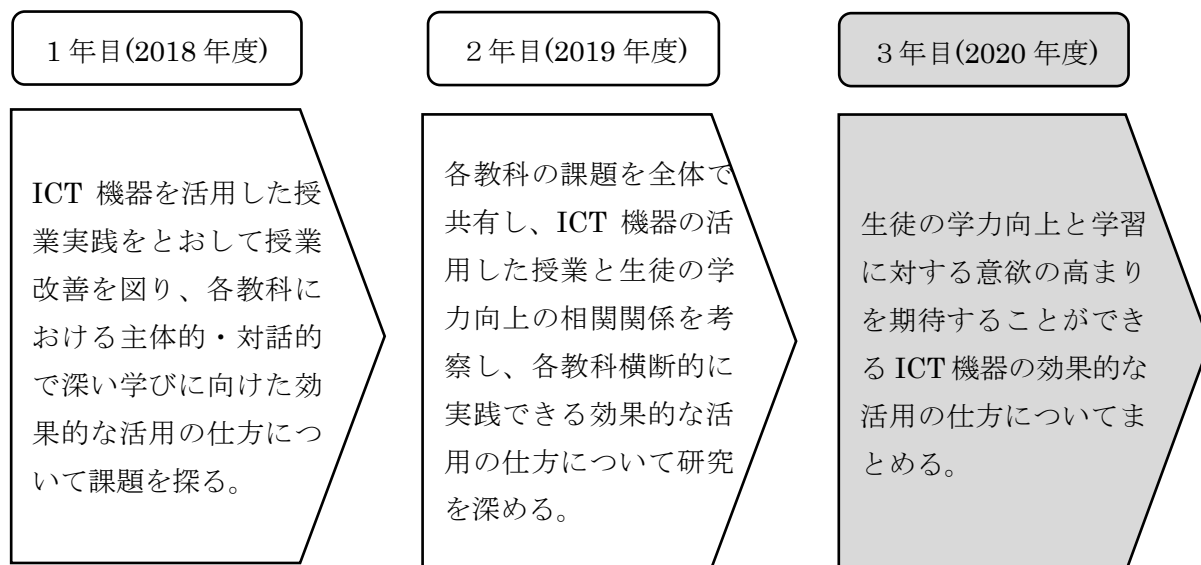


令和2年度研究・研修

1 研究主題

基礎的・基本的な知識・技能を身につけ、自ら進んで学習に取り組む生徒の育成
～各教科における ICT 機器を活用した授業づくり～

< 3 年間の研究の流れ >



2 主題設定の理由

急速な情報通信技術の進展やグローバル化など、子供たちを取り巻く環境は大きく変化
する中で、我が国が向かう Society5.0 という新たな社会では、学校は子供たちの将来を見
据え、教育の情報化を通じた新たな学びを推進することが必要である。

平成25年6月に、「第2期教育振興基本計画」で確かな学力を効果的に育成するた
め、ICT の積極的な活用をはじめとする指導方法・指導体制の工夫改善を通じた協働型・双
方向型の授業革新の推進など、ICT の活用等による新たな学びが示された。ICT（情報通信
技術）は、時間的・空間的制約を超えること、双方向性を有すること、カスタマイズが容
易であること、多様かつ大量の情報の蓄積・共有・分析が可能である。子供たちの学びの
場に、このような特徴を効果的に活用することにより、主体的・対話的で深い学びの実現
を図る。

新学習指導要領の目指す資質・能力の育成に向け、フラッシュ型教材の研究を発展させ、
知識及び技能を確実に習得できるよう目指す。また、「GIGA スクール構想」による1人1
台の時代が目の前に迫ることを考え、生徒に一人一台の情報端末、すべての教室に電子黒
板や無線LAN等が整備された学習環境の在り方についても継続して研究を進める。

指定最終の今年度は、3年間の ICT を活用した教育の効果・影響の検証、効果的な指導方
法の開発等について実証研究を進め、成果をまとめる。

3 研究仮説

- ・画面の拡大や指導者用デジタル教材等を活用し、繰り返し学習を行うことで基礎的・基本的な知識・技能を身につけることができるであろう。
- ・学習者用コンピュータ等を活用し、主体的・対話的で深い学びを推進することで一人ひとりの能力や特性に応じた学習の実現につながり、自ら進んで学習する生徒が育成できるであろう。

4 研究方法（研究の進め方）

- （１）各教科においてフラッシュ型教材を改善・検証を行い、基礎的・基本的な知識・技能の習得を図る。ICT 研究運営委員会や研究推進委員会、全体研修会を通して新しい学びに向けた ICT の効果的な活用場面・方法について研究・協議する。
- （２）研究授業や相互授業参観を通し、効果的な活用場面・方法・ICT 機器を検証する。
- （３）全国学力・学習状況調査の結果や生徒アンケート等を分析し、学力との相関関係について分析・考察する。

5 年間研究計画

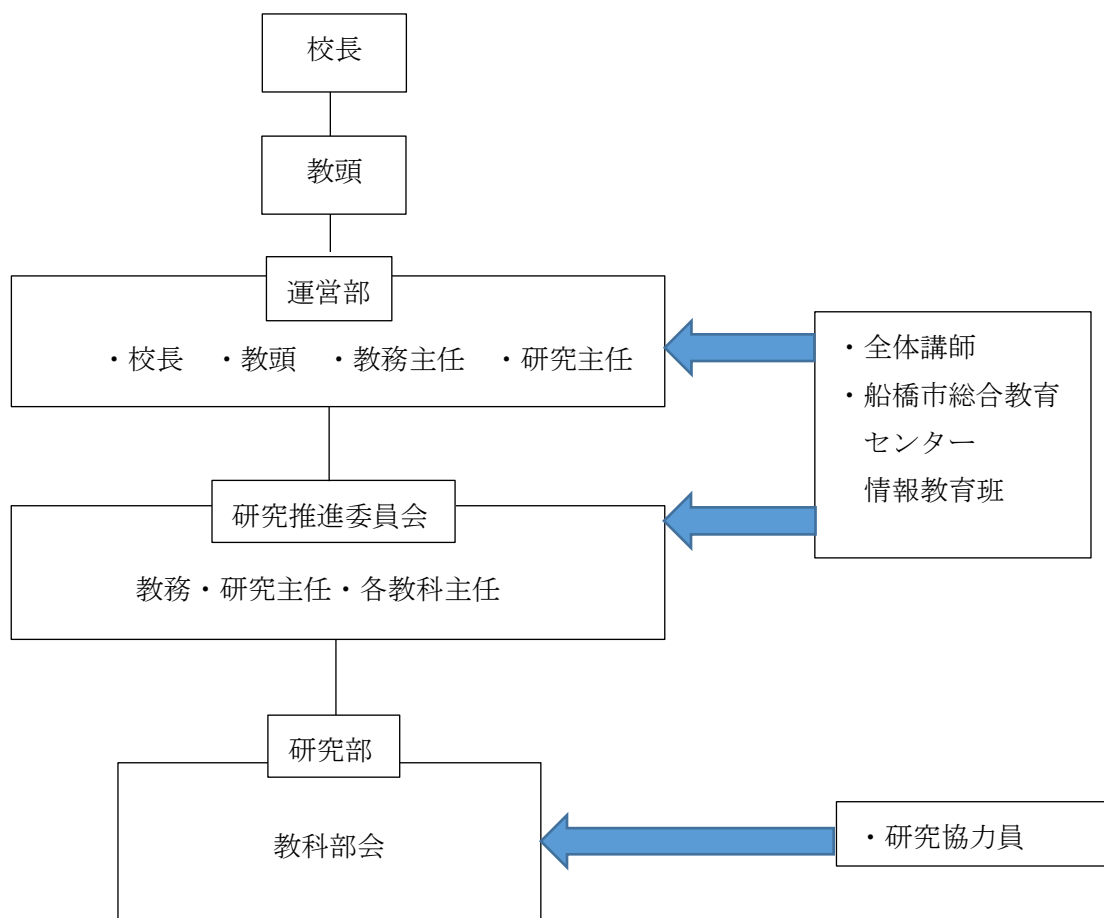
期 日	会議・研修	内容	セ	協	学
4月6日（月）	運営部①	研究計画の提案			●
4月20日（月）	職員会議、校内研修Ⅰ	研究計画の決定			○
5月18日（月）	職員会議、校内研修Ⅱ	前期研究授業計画提案			○
5月19日（火）	運営部②				●
5月22日（金）	研究推進委員会①	指導案検討打ち合わせ			●
5月26日（火）	研究部会①	指導案検討	○	○	●
6月18日（木）	運営部③				●
6月22日（月）	職員会議、校内研修Ⅲ				○
6月24日（水）	研究推進委員会②	研究授業運営打合せ			●
7月 7日（火）	前期研究授業	研究及び検証実践、事後検討	◎	○	○
7月10日（金）	運営部④	公開研究会提案			●
7月20日（月）	研究推進委員会③	公開研究会打ち合わせ			●
未定	校内研修Ⅳ				○
8月24日（月）	研究部会②	公開研究会指導案検討 紀要原稿検討		○	○
9月18日（金）	運営部会⑤	公開研究会打ち合わせ			●
9月25日（金）	研究推進委員会④	公開研究会打ち合わせ			●
10月12日（月）	運営部会⑥	公開研究会打ち合わせ			●
10月19日（月）	研究推進委員会⑤	公開研究会打ち合わせ			●

11月6日(金)	研究部会③	最終打ち合わせ	○	○	○
11月11日(水)	公開研究会	研究及び検証、研究協議会 ※全教科外部講師を招聘	◎	○	○
12月4日(火)	研究部会④	研究のまとめ検討会	○	○	○
1月15日(金)	運営部会⑦	研究のまとめ検討会			○
1月22日(金)	研究推進委員会⑥				
3月23日(月)	研究部会	研究最終まとめ報告会			○

セ…◎全体講師・情報教育班参加 ○情報教育班参加

学…○全職員参加 ●一部参加（研究推進委員及び運営部会）

6 研究組織



7 研修計画

研修名	対象	内容	時間
情報教育	全職員	ICT 機器を活用した授業改善について	随時
特別の教科道徳	全職員	・授業改善及び評価について	年3回

若年層チーム フォローアップ ステップアップ	7年経験者以下	・各教科における授業改善 ・教師としてのモラル・倫理観の向上 ・道徳授業研究の指導案検討・運営・事後検討会	年6回
初任者	初任者（講師）	・教職員として必要な資質・能力を身につける	A 研修 随時 B 研修 毎週月曜日
モラルアップ	全体	・不祥事防止及び勤務時間の適正化	適宜

8 年間計画

月	学力向上	特別の教科道徳	若年層チーム フォローアップ ステップアップ	初任者	モラルアップ
4	校内研修Ⅰ		若年層研修①	校内研修 校外研修	
5	校内研修Ⅱ 研究部会①（教科部会）		道徳指導案検討		
6	校内研修Ⅲ 研究部会② 相互授業参観	研究授業① （時期未定） 授業改善に関する研修	研究授業の運営 事後検討会		
7	前期研究授業（7日）		若年層研修②		不祥事防止研修会
8	研究部会③ 校内研修Ⅳ				
9					
10	指導案検討会				
11	公開研究会（11日）				
12	研究部会⑤		道徳指導案検討 若年層研修③	↓	
1	研究部会⑥	研究授業 （時期未定） 評価に関する研修	研究授業の運営 事後検討会	校内研修 校外研修	
2	全体研修会Ⅴ			↓	
3	研究推進委員会③			↓	

9 教科別研究主題一覧（令和２年度）

国語	社会生活に必要な国語力の基礎定着を目指した指導法の工夫 ～ICT 機器を活用した授業の展開～
社会	「わかりやすい授業」を展開するための指導法の工夫と改善 ～ICT を活用した授業の工夫～
数学	基礎的・基本的な学力と数学的に考える力を育む授業の研究 ～ICT 機器の特性を活かした授業を目指して～
理科	基礎的・基本的な知識・技能を身につけ、進んで科学的な探究ができる生徒の育成 ～ICT 機器の効果的な活用～
音楽	自ら主体的に音楽活動に取り組む指導法の研究
保健体育	自発的・自主的に取り組む保健体育学習を目指して
技術・家庭科	基礎・基本を身につけ、思考し、表現する力を身につけさせるための指導法の研究 ～より教育効果を高めるための ICT 機器の活用～
英語	実際のコミュニケーションにおいて活用できる技能を身に付けさせる 指導法のあり方 ～ICTを効果的に活用して～
道徳	考え、議論する道徳の授業による心豊かな生徒の育成 ～ICT を活用した授業改善～